

## 試合中の注意事項

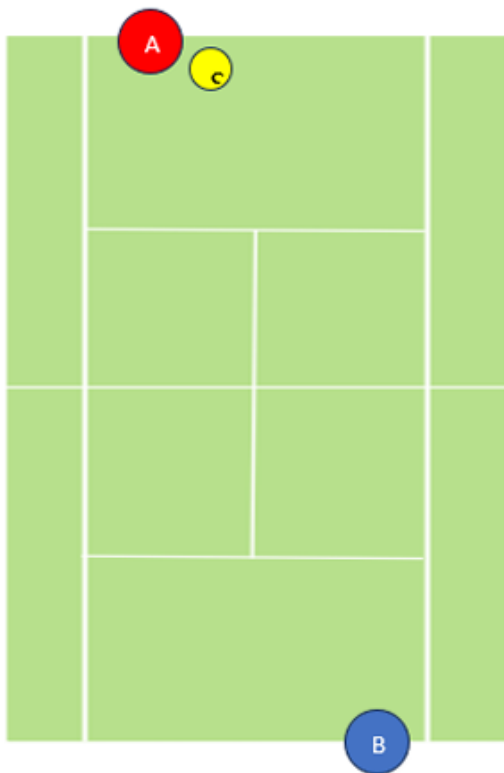
### ・セットタイブレーク後のサービスの順序

セットタイブレーク後、次セットを始めるときは、タイブレークの1ポイント目でレシーブをした側がサーバーとなる。

エンドチェンジはタイブレーク終了時のエンドからエンドチェンジをする。

\*セットの切り替わりなのでサーブの順序、レシーブのサイドは選択できる。

例)1. A vs B の試合 1st セットタイブレーク終了時のサイドが下図の場合(1p目はBサーブ)



#### 1st セット終了時の状況

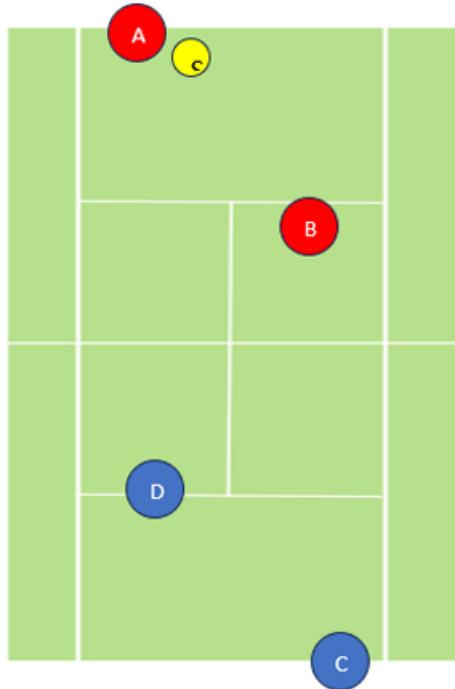
Aからのサーブポイントでセット終了 7-2  
(タイブレーク1ポイント目はBサーブ)  
エンドはAが上側, Bが下側



#### 2nd セット開始時

サーブはAから  
エンドはAが下側, Bが上側

例)2. A,B vs C,D の試合 1st セットタイブレークタイブレーク終了時のサイドが下図の場合  
(1p目 は D サーブ)



**1st セット終了時の状況**

A からのサーブポイントでセット終了 7-5  
(タイブレーク1ポイント目は D サーブ)  
エンドは A,B が上側, C,D が下側



**2nd セット開始時**

サーブは A,D から  
(セットの切り替わりなのでサービスの順序は自由)  
\*リターンサイドも同様に変更可  
エンドは A,B が下側, C,D が上側  
(タイブレークポイント 7-5 でエンドチェンジをして、次セットでエンドチェンジではなく、終了時にいたサイドで考える)

・MTO(メディカルタイムアウト)

試合中(ウォームアップを含む)に発生した怪我または病気においてトレーナー、ドクターの手当て、判断が必要とする症状を対象

\*手当をしても改善されないと診断された症状, 既往症(試合中に急激に悪化した場合を除く), 疲労及び体力の消耗, 注射・酸素注入・点滴を必要とする症状(事前に申し出た場合, 糖尿病に必要なインスリン注射は許される)では MTO をとることができない

MTO を取る手順

1. 試合中(ウォームアップを含む), 学連を通じてトレーナーを要請し, 次のエンド交代時・セット間に診察

2. 診察にて手当てが可能だと判断されればMTOをとることができる。  
診察時間は理にかなった範囲内にとどめる。  
手当てが受けられないと判断された症状は MTO をとることができない。  
→メディカルトリートメントを参照
3. MTO は1部位につき1回(3分間)とることができる。  
出血の場合は5分まで延長することができる。  
2部位以上の申請でも関連性あり, 原因が1つであると判断されれば1部位扱いとなる。  
MTO はトレーナーまたはドクターが実際に処置を開始した時に始まる。  
同時に2カ所の怪我を負った場合, 学連の許可を得れば2回続けてMTOをとっても良い。  
ただし, トレーナーは2回連続のMTOをとるかどうかを1度の診察で判断する必要がある。(MTOが始まったのちの部位の追加は認められない)
4. MTO 終了後, 靴を履きゲームに必要な衣類を全て着用してから, (タイムのコール後)30秒以内にプレーを再開する。

#### ・メディカルトリートメント(筋痙攣などはこちら)

選手はエンド交代時(90秒), セット間(120秒)に手当てを受けたり, ドクターから医薬品を受け取ったりすることができる。

手当は, MTO の前後に関係なく2回までとることができる。

プレーが続行できないほど筋痙攣の症状が重いとトレーナーまたはドクターが判断した場合, 選手は治療を受けるために, 次のエンド交代時またはセット間までポイント, ゲームを失う。

治療はエンド交代時(90秒), セット間(120秒)の時間内で行わなければならない。

#### ・トイレットブ레이크

トイレットブ레이크はセット間にとることができる。ただし, 緊急だと学連が判断した場合はその限りではない。

時間は, 1 回 3 分間。着替えを含む場合は 5 分間とする。

ウォームアップ中のトイレットブ레이크は試合中と同じ扱いとなり, 回数に数える。

トイレットブ레이크は第三者とウォームアップできない。

認められた回数のトイレットブ레이크を全て使ってしまった場合, 必要であればトイレに行くことはできるが, エンド交代時(90秒), セット間(120秒)の時間以内にプレーを再開しなけ

ればならない。

#### トイレ休憩の回数

| 男女共通   | 男子       | 女子        |
|--------|----------|-----------|
| シングルス  | ダブルス     | ダブルス      |
| 1 試合1回 | 1試合ペアで1回 | 1 試合ペアで2回 |

\*ダブルスのペア2人が同時に行った場合は1回とみなされる。

#### ・ヒートルール

→JTA の規定を参照(<http://medical.jta-tennis.or.jp/>)

〔暑熱下に開催される大会でのヒートルールの採用と適用について〕

環境省の「暑さ指数(WBGT)予測値等電子情報提供サービス」が 1 時間ごとに提供する大会会場に最も近い地点でのWBGTを参考に、主催大会に以下のヒートルールの採用と適用をします。

| 気温<br>(参考)     | 暑さ指数<br>(WBGT) | 指針レベル  | 対 応                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------|----------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 24<br>～<br>28℃ | 21<br>～<br>25℃ | 1 注意   | 熱中症の兆候に注意するとともに、エンドチェンジの際に積極的に水分・塩分を補給するよう促す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 28<br>～<br>31℃ | 25<br>～<br>28℃ | 2 警戒   | WBGT25℃以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給させる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 31<br>～<br>35℃ | 28<br>～<br>31℃ | 3 厳重警戒 | WBGT28℃以上では、熱中症の危険性が高いため、頻繁に休息をとり水分・塩分の補給をさせる。体表冷却手段を提供する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 35℃<br>以上      | 31℃<br>以上      | 4 特別対応 | <p>上記の厳重警戒対応に加え以下の対応を講じる。</p> <p>❶ J1以上の大会で3セットマッチで行われる種目</p> <p>1 以下のいずれかの試合フォーマットを選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ファイナルセットマッチタイブレーク<br/>(10ポイントまたは7ポイント)</li> <li>●3タイブレークセット</li> </ul> <p>2 最終セット前に10分間のコート外での休憩を与える。</p> <p>❷ 上記以外のJTA公式大会で3セットマッチで行われる種目</p> <p>1 以下のいずれかの試合フォーマットを選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●3ショートセット<br/>(4ゲームオールまたは3ゲームオールタイブレーク)</li> <li>●ファイナルセットマッチタイブレーク<br/>(10ポイントまたは7ポイント)</li> </ul> <p>2 最終セット前に10分間のコート外での休憩を与える。</p> |

☆九州学生テニス連盟主催の大会は、指数レベル4の「特別対応」を、『最終セット前に10分間コート外での休憩を与える。』に対応を統一する。